認証表明の方法

認定シンボルの使用について

発行：日本マネジメントシステム認証機関協議会

１．目次

１．目次
２．本資料の目的と注意
３．認定シンボルの表示
４．名刺での認証の表明
５．製品包装での認証の表明
６．看板等での認証の表明
７．その他の認証の表明
８．その他の注意事項

2. 本資料の目的と注意（1）

- 本資料は、マネジメントシステムの認証を取得した組織（企業、団体など）が、認証機関のロゴマークと認定機関のシンボルを併用して認証の表明をするにあたって、広く共通する注意事項と、JAB（公益財団法人日本適合性認定協会）の『認定シンボル使用規則』について、JACB（日本マネジメントシステム認証機関協議会）に所属する認証機関（以下CB）の間で共有された解釈について提示するものです。

２．本資料の目的と注意（２）

- 本資料は、JABの認定シンボルの使用規程を対象とし、海外の認定機関の規程については取り扱いません。
- 本資料は、JABによって認定されたマネジメントシステム認証機関（以下CBとする）の個別の認証マークの使用方法については取り扱いません。

３．認定シンボルの表示（１）

- ここでは、認証機関のロゴマークとJABによって交付される認定シンボルを併用した認証の表明に関する基本的な共通のルールについて解説します。

認証機関 ロゴマーク
ＣＢ

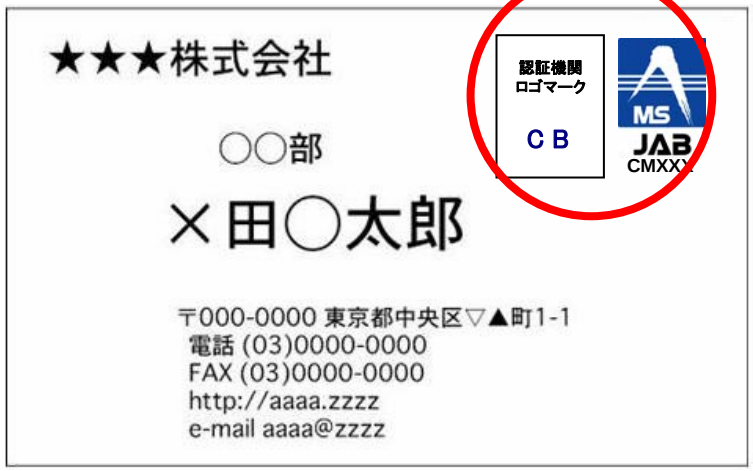
CMXXX

認定シンボル（JAB）

３．認定シンボルの表示（２）

① 認定シンボルだけを使用してはいけません。

（誤用）

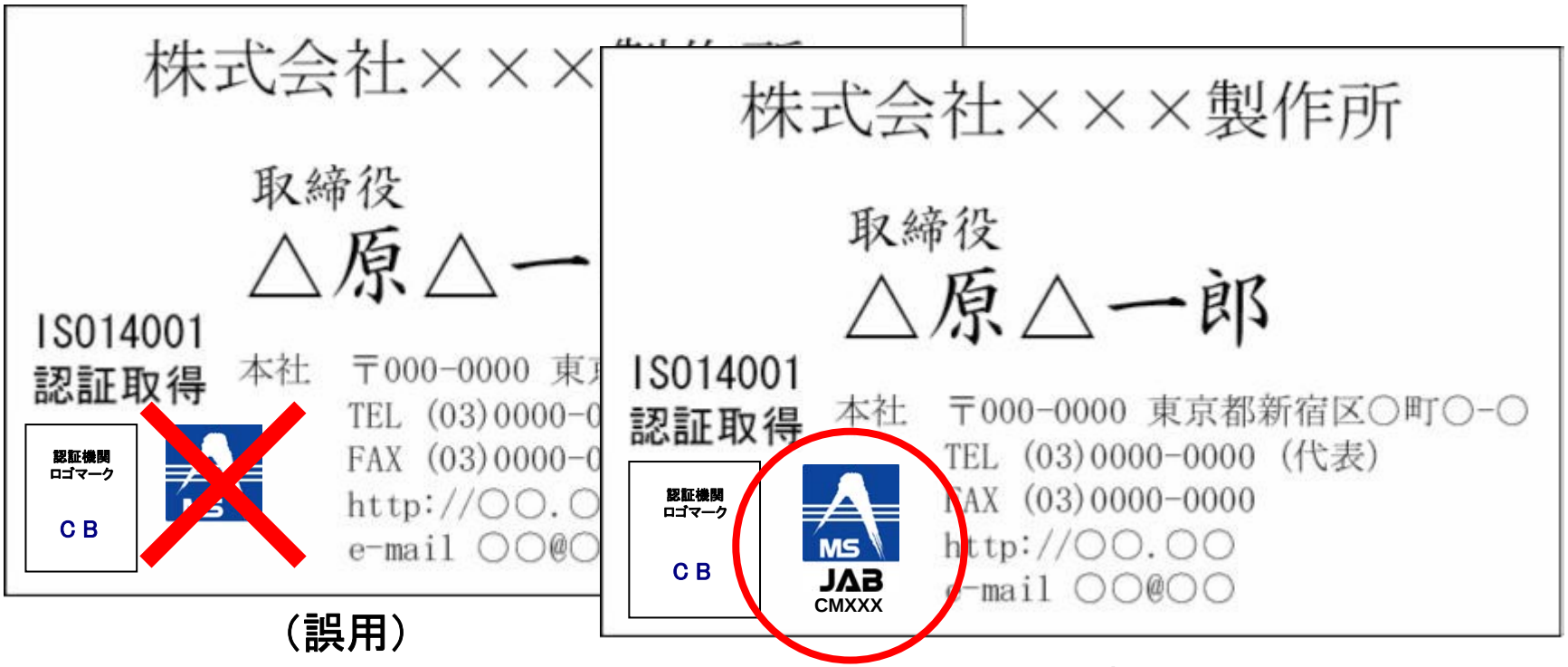


（正しい使用）

認定シンボルは常に、「認証機関のマーク」とともに使用してください。
※「認証機関のマーク」のみの使用は可。

3．認定シンボルの表示（3）

② 認定シンボルの下の「JAB」の文字を削除してはいけません。

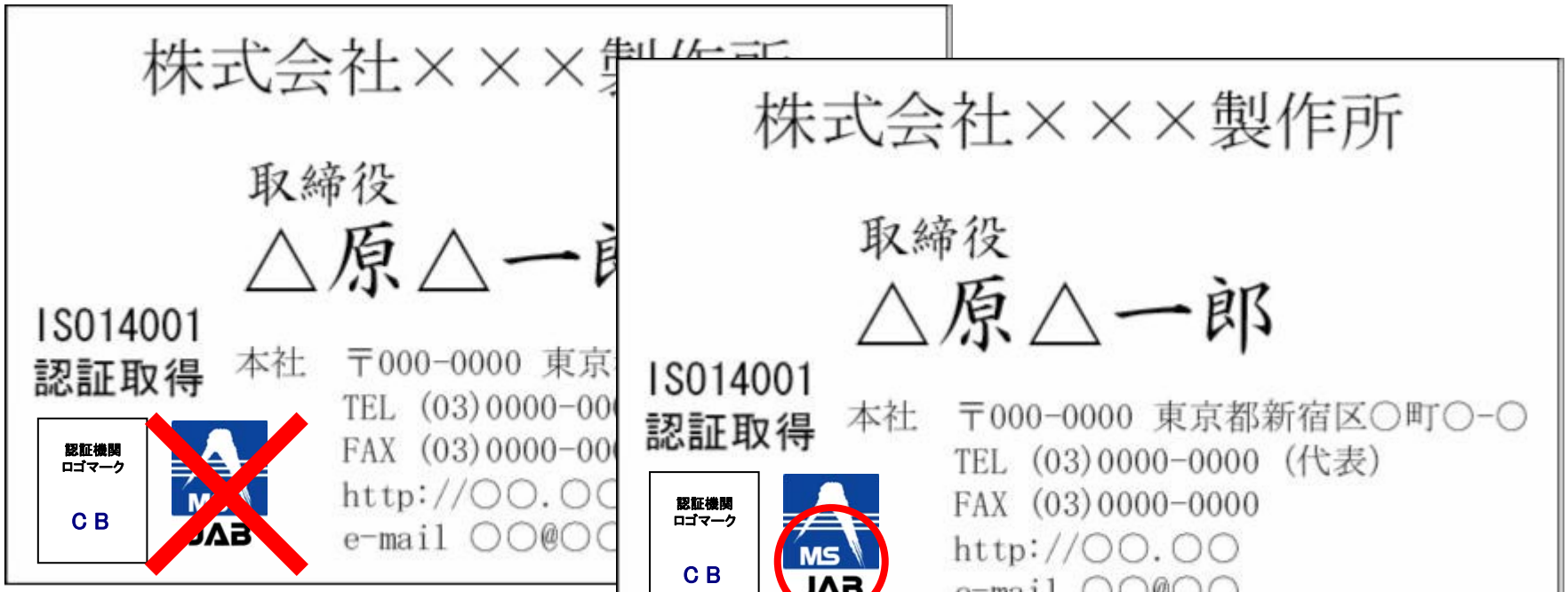


（誤用）

（正しい使用）

3．認定シンボルの表示（4）

③ 認定シンボルの認定番号を削除してはいけません。

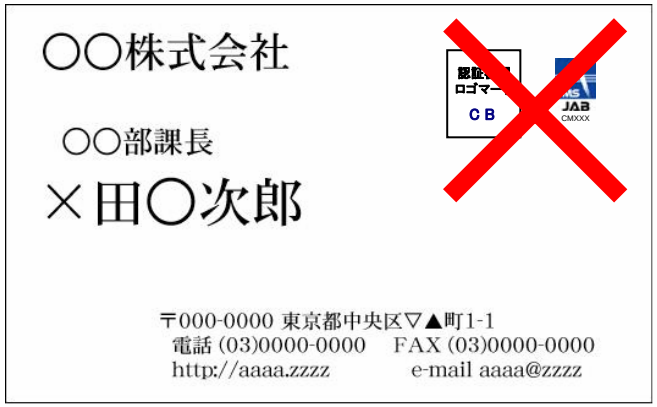


（誤用）

（正しい使用）

３．認定シンボルの表示（５）

④ 認定シンボルが小さく、不鮮明なのはいけません。



（誤用）

（正しい使用）

重要：認定機関のマーク及び認証機関のマークは、鮮明で、かつマークに付属の文字が判読できるように使用してください。

4. 名刺での認証の表明(1)

- ここでは、名刺での認証表明について、よくある誤用について解説します。

重要:認定機関によっては、認定シンボルの名刺への使用を認めていない場合があります。

４．名刺での認証の表明（２）

- 認証範囲外の事業所が認証されているような誤解を生む使用はできません。

～本社のみ認証取得している例～

（誤用）
四国は認証範囲外である。

（正しい使用）
本社：東京都千代田区〇町は認証されている。

5. 製品包装での認証の表明(1)

- ここでは、製品包装を用いた認証表明について、よくある誤用について解説します。

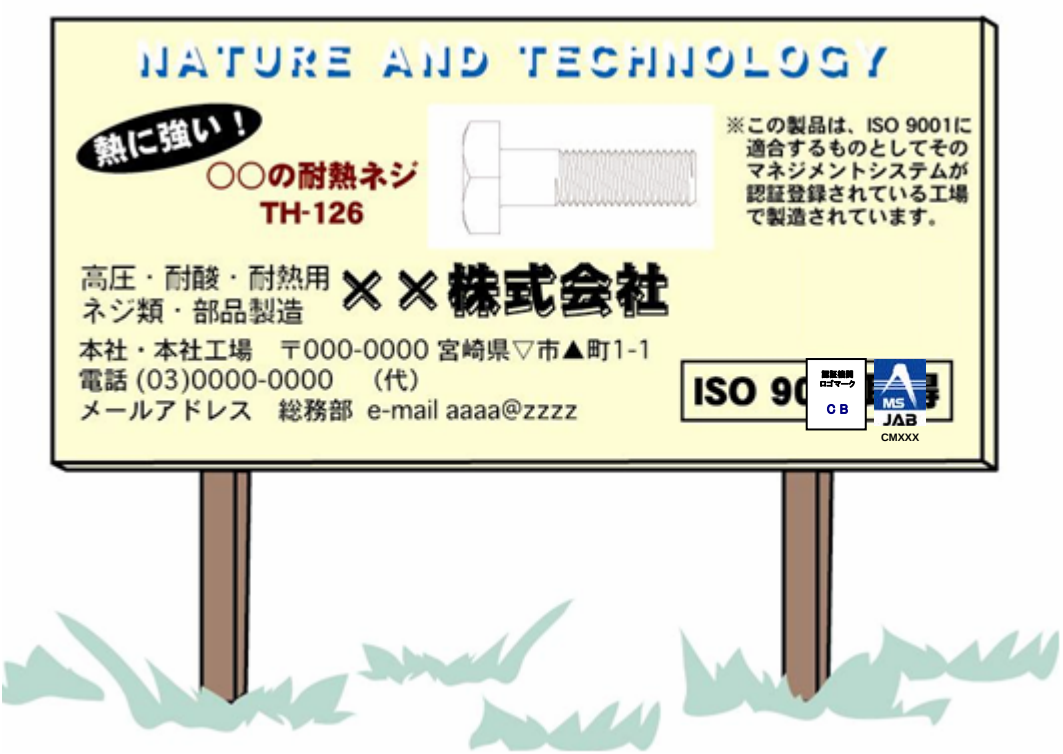
５．製品包装での認証の表明（２）

製品が認証されているような誤解を生む、
製品包装への、認証機関のロゴマーク及び認定シンボルの使用はできません。

※認証取得と記載する場合は対象を明らかにする必要があります。
シンボルマークの使用は避け、「ISO 9001認証された工場で生産」などと記載することを推奨いたします。

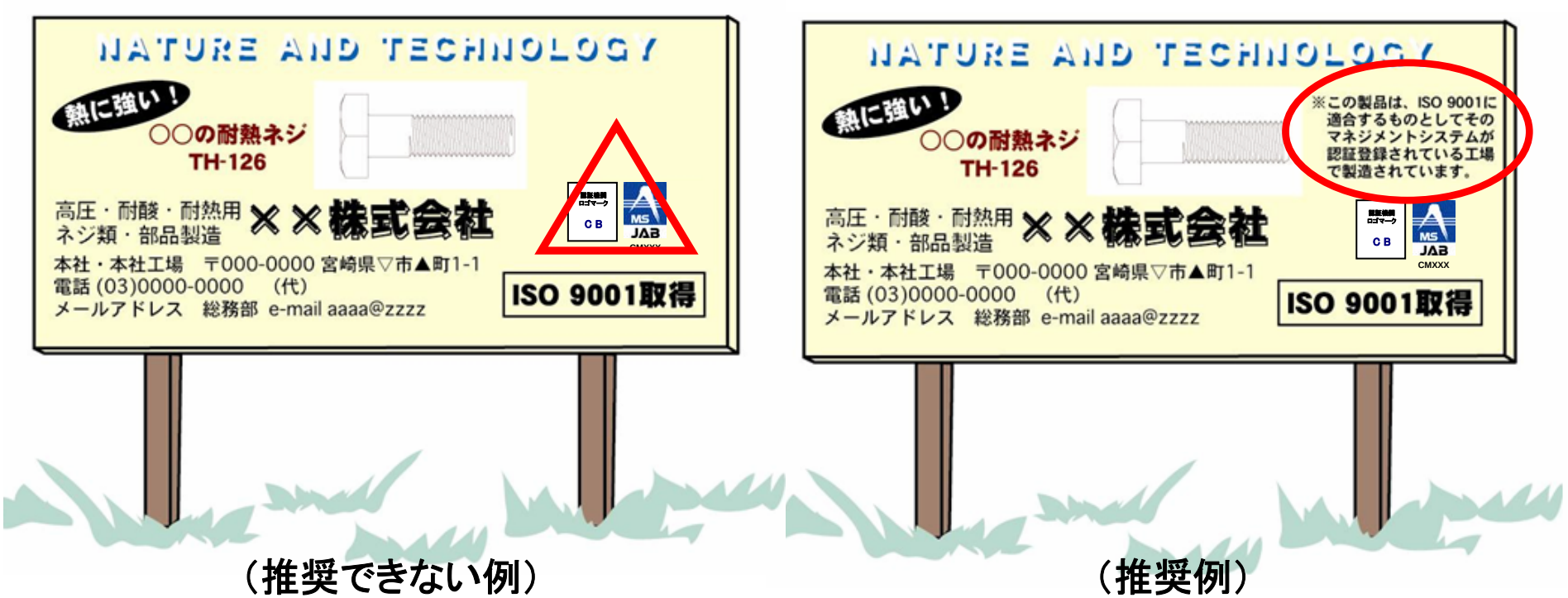
6. 看板等での認証の表明(1)

- ここでは、看板等を用いた認証の表明について、よくある誤用について解説します。



6. 看板等での認証の表明(2)

製品やプロセスが認証を受けているという印象を与えない。



（推奨できない例）
製品が認証されていると、
誤解がされるおそれがある。

（推奨例）
マネジメントシステムの認証で
あるとの説明がある。

【重要】認定機関によっては看板や建物への認定シンボルの使用を認めていません。

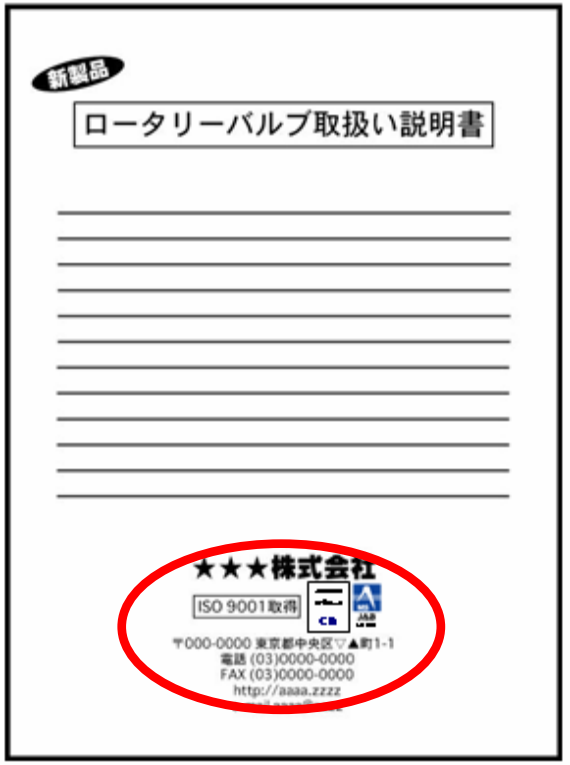
7. その他の認証の表明(1)

- ここでは、その他、文書等での認証表明について、よくある誤用について解説します。

7. その他の認証の表明(2)

① 製品の取扱説明書へのシンボルの使用

（推奨できない例）
製品が認証されていると、
誤解がされるおそれがある。



（推奨例）
シンボルの位置から、会社の宣伝で
あることがわかります。

7. その他の認証の表明(3)

② 試験所による試験・校正の報告書、検査機関による検査の報告書には、認定シンボルを使用することはできません。

③ (重要)IAF MLA(IAF多角的相互承認協定)マークは、認証機関による使用に限定されており、認証登録証に付与されていても、認定シンボルと異なり組織の認証の表明には使用できません。(IAFマークが付与された認証登録証をコピーして使用することは問題ありません。)

8. その他の注意事項

- 規格名は正確に記載してください。
  ① 一般的な名称である「ISO 9000認証」や「ISO 14000認証」等の表現は誤りです。
  ② すでに廃止された規格の名称は誤りです。
  例）ISO 9002認証